

第18回会長杯オープンドッジボール選手権大会 大会要項

- 1 日時 令和6年6月8日(土) 9:00~17:00
開場 8:30 受付 8:30~
開会式 9:00 監督会議 8:45
競技開始 9:30
役員準備(会場設営) 8:15
- 2 会場 リリーアリーナMITO(水戸市青柳公園市民体育館)
茨城県水戸市水府町864-6
TEL 029-225-6931(検索用)
- 3 主催 茨城県ドッジボール協会
- 4 後援 茨城県教育委員会 水戸市教育委員会 水戸市スポーツ協会
- 5 協賛 お弁当のひろうら

6 競技種目

- (1) 男女混合の部 : 小学校3年生~6年生で構成されたチーム(12人制)
- (2) 子ども会・フレンドリーの部 : 小学校3年生~6年生で構成された茨城県内のチーム(8人制)
- (3) U-15の部 : 中学校1年生~3年生で構成された茨城県内のチーム(8人制)
※U-15の部は、2024シニアチャンピオンシップ in 関東の予選となります。
- (4) シニアの部 : 中学生以上で構成されたチーム(8人制)

※男女今後の部のエントリーは20名まで。その他は15名まで。

※男女混合と子ども会・フレンドリーのダブルエントリーは不可。

※U-15とシニアのダブルエントリーは可としますが、別添『チーム編成と出場大会に関する基準(2023年度版)』を参考に、先々の大会でエントリーに不都合が無いようご注意ください。

- 7 参加料 男女混合の部 9,000円
その他のカテゴリー 8,000円
※参加費は、当日受付にてお支払いください。
※男女混合の部及びU-15については、帯同審判制となります。各チームで帯同審判員1名以上を出してください。帯同審判員がいない場合は、参加費の他に1名につき3,000円頂戴します。(ジュニア審判員は、協力審判員となりますのでご了承ください。)
※子ども会・フレンドリーの部については、帯同審判制ではありませんが、公認審判員がいる場合にはご協力ください。
※シニアの部については、帯同審判制はありませんが、審判員が集まらない場合、各チームより線審等のお手伝いをお願いする場合があります。(選手との兼務可・自チームの試合時間以外のお手伝いをお願いします。)

8 競技方法

- (1) 試合は、予選リーグ戦を経て、決勝トーナメント方式にて行います。
- (2) 予選リーグの組合せは、茨城県ドッジボール協会競技委員会の責任抽選にて決定し、県協会HPにて発表します。

9 競技規則

- (1) ルールは、一般財団法人日本ドッジボール協会公式ルール及び2023年度版シニアカテゴリーレギュレーションに則って行います。コートサイズは男女混合及び子ども会・フレンドリーの部は小学生サイズ、シニア及びU-15の部は内野11m、外野3m、センターサークル半径2mとします。
- (2) 今大会は、下記のように試合を実施します。
 - ・予選リーグ 5分1セットマッチ
 - ・決勝トーナメント 5分1セットマッチ
 - ・各カテゴリーの決勝は5分3セットマッチ
 - ・試合時間の計測はすべてランニングタイム制とします。※時間の都合により変更することがあります。ご了承ください。
- (3) 予選リーグは、勝ち点制を採用し順位を決定し、全チームが決勝トーナメントに進出します。(勝ち：2点、引分け：1点、負け：0点) 勝点合計が同点の場合は、「各試合終了時の味方内野人数の合計の多いチーム」・「直接対決で勝ったチーム」・「各試合終了時の相手内野人数の合計の少ないチーム」の順で上位を決定します。それでも決まらない場合は決定戦を行います。
- (4) 決勝トーナメントでは、セットごとに勝敗を決めます。セット終了時に内野人数が同数の場合には、セット終了時の状態でVポイントゲームを行います。
- (5) 審判への抗議・アピール行為は一切認めません。
- (6) 選手への厳しい指導(体罰・罵声等)があった場合は、大会本部より処分を下すことになります。

10 表彰

各部門の優勝チーム及び上位入賞チームを表彰します。

U-15の部については、上位チームをシニアチャンピオンシップ in 関東に推薦します。

11 申込方法

令和6年5月26日(日)までに参加申込書を大会事務局あて **Email** で送付してください。

表題は「第18回会長杯参加申込(チーム名)」としてください。

※参加申込書・弁当注文書は当協会HPからダウンロードできます。

12 その他

- (1) 必ず責任者及び保護者が引率して下さい。
- (2) 参加選手には万一の事故に備え「スポーツ安全保険」への団体加入を義務付けます。
- (3) 大会参加にあたっては、選手の健康管理に十分留意してください。競技中に選手が負傷した場合、会場において応急処置をいたしますが、主催者はその後の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。また、大会会場までの往復中の事故等及び車上荒らし、置き引きについても責任を負いかねますのでご注意ください。
- (4) プラカードは各チームでご用意ください。
- (5) 当日のお弁当は、指定業者への注文にご協力ください。
- (6) U-15の部については、シニアチャンピオンシップ in 関東に推薦されるチームは、プレイヤー全員の競技者登録が必要になります。また、ベンチ入りする役員は、全員がC級指導員以上の資格を有し、かつ、うち1名以上がA級指導員であることが求められますので、各チームにおかれましては、ご確認をお願いします。(本大会での確認は行いません。)

13 本大会に関するお問い合わせ先

〈大会事務局〉

『第18回会長杯オープンドッジボール選手権大会』係

〒310-0031 水戸市大工町1-2-22 茨城県ドッジボール協会

Email: info@idba.jp

事務局090-2657-3785

※諸注意

- ① 駐車場の数に限りがありますので、極力、乗り合いでお越し下さいますようお願いいたします。
- ② プール利用などのため、駐車可能な場所が決まっていますので、必ず下図の「駐車可能な場所」に駐車してください。
- ③ 車上荒らしの被害が報告されておりますので、貴重品の管理には十分留意願います。
- ④ 駐車場及び建物内の通路・ロビーでのボールを使用しないでください。
- ⑤ プラカードは各チームで準備願います（20 cm×60 cm程度）。
- ⑥ 喫煙マナーを厳守して下さい。
- ⑦ 大会中はスタッフの指示（お弁当の配付・回収等）に従って下さい。
- ⑧ ゴミの持ち帰りを厳守して下さい。

リリーアリーナ MITO 駐車場案内



駐車場開場は8時です。

(早い時間から待つのは交通渋滞等、周辺への影響がありますので控えていただく様お願い致します。)

2023年度版シニアカテゴリーレギュレーション

【適用】

本レギュレーションは全日本選手権・U15・全日本女子総合選手権（以下、上位大会）とシニアチャンピオンシップ（以下、予選大会）において適用されるものとする。但し、上記大会以外の大会においても、大会主催者が本レギュレーションを採用し、競技運営を行うことができる。

【クラス】

シニアカテゴリーを下記のようにクラス分けする。

なお、2023年度におけるU15の定義は、2008年4月2日～2011年4月1日生まれとする。

- 1、ファイターの部（全日本選手権、及びシニアチャンピオンシップ）
中学生以上の男女で構成される競技性を重視したクラス。男女比の制限は行わない。
- 2、女子の部（全日本女子総合選手権、及びシニアチャンピオンシップ）
中学生以上の女子で構成される競技性を重視したクラス。
- 3、U15の部（全日本選手権、及びシニアチャンピオンシップ）
男女で構成される競技性を重視したクラス。男女比の制限は行わない。
- 4、ふれあいの部・エンジョイの部等の普及目的の部門（シニアチャンピオンシップのみ）
中学生以上の男女で構成されるレクリエーションを重視したクラス。出場要件は、各主催者により異なる。（普及計画を重視し、以下のレギュレーションを主催者が変更する場合があります。各大会の要項を確認してください。）

【チーム編成・スターティングラインナップ】

チームは20名までのプレイヤーと3名までのチーム役員で構成される。チーム役員が兼任プレイヤーとなる場合※は、20名の登録プレイヤーの中に含まなくてはならない。

- 監督が兼任プレイヤーとして試合に出場する場合、プレイヤーズベンチには必ず20歳以上の成人が監督代行者としていなければならない。
- 主審・コートマスターが指示をした場合を除き、いかなる理由においてもプレイヤーズベンチに監督代行者がいなくなった時点で不完全の対象となる。対応は公式ルール&審判テキストブック126頁「11.不完全となった場合」の「2）成人がベンチにいなくなった場合」に記載の通りとするが、②の「プレイヤーの人数を確認」を「必要に応じてプレイヤーズベンチにいる者の年齢を確認」と置き換えて対応する。

※U15の部においてはプレイヤーとチーム役員の兼任はできません。

- 一方のチームが不完全となった時点で、その相手チームを不戦勝とする。この場合における試合の勝敗は、公式ルール「第705条 ③」に準拠する。（◆但し、各セットの内野人数は7対0とする。）

なお、監督が選手として出場している際、選手の安全確認と記録用紙への署名は全て監督代行者が責任を持って行う。

試合開始時には、コート上には8名のプレイヤーが出場するが、7名の場合（大会エントリー時点では8名必須）でも試合は成立とする。試合開始時の出場人数が6名以下となった時点で不完全の適用とする。

【チームのエントリー・選手の競技者登録について】

(本大会は適用しないため省略)

【チーム役員の指導者登録について】

(本大会は適用しないため省略)

【予選大会から上位大会までの選手の変更について】

(本大会は適用しないため省略)

【上位大会への出場辞退】

(本大会は適用しないため省略)

【抗議・アピール】

- いかなる抗議・アピールも罰則の対象とする。反射的な動作であっても悪質な言動と審判員が判断したものについては罰則の対象とする。
- 試合終了後の一方的な意見・批判等は、罰則の対象とする。

【コートサイズ】

- コートサイズは全てのクラスにおいて、下図の通りとする。(今回は省略)
- 女子の部においては、小学生のコートサイズで実施しても構わない。
- 会場規模によりコートサイズ確保が困難な場合は、安全確保等を勘案し主催者側の判断により、変更することができる。
- 小学生のコートサイズよりも小さいコートで試合を行うことは認めない。
- コートサイズに変更がある場合は、大会要項や監督会議で事前に説明すること。

【ボール】

JDBA公認球（ミカサ製DB-350B-YLB、モルテン製D3C5000-YC）を使用する。但し、空気圧に関してはメーカー設定の下限値を大会開催前に調整する。

【試合形式】

- 全ての試合をランニングタイム制で行う。
- 予選はリーグ戦またはリンク戦を行い、上位チームが決勝トーナメントに進出する。
- リーグ戦またはリンク戦の順位決定方法は、各主催者が決定する。
- 決勝トーナメントにおいて試合終了時に内野人数が同数の場合は、ヴィクトリーポイント(Vポイント・VP)ゲームで勝敗を決定する。
- 決勝トーナメントのセット数については、各主催者が決定する。

【外野のワンタッチ】

- 全てのクラスにおいて外野のワンタッチルールを採用しない。
- 外野のワンタッチが存在しないことから、外野プレイヤーが意図的にボールを弾く行為は例外的な行為とは認められず、イリーガル・スローの対象とする。

【ヘッドアタック】

- ドッジボールが危険な競技と誤解をされないよう、攻撃側、守備側共に最大限の配慮を行うこと。
- ファイターの部、女子の部においては、相手プレイヤーが投球したノーバウンドボールに対し、キャッチング(捕球行為)またはドッジング(ボールをかわす行為)の意思がない状況で、ヘッドアタックを誘発させるために頭を突き出す行為や、意図的に頭部をボールの軌道に移動させる行為と審判員が判断した場合、イリーガル・キャッチ、イリーガル・スローの対象としてアウトとするので注意すること。(状況に応じ、罰則の対象となる場合もある)
- 攻撃側についても至近距離などの状況下にて頭部への投球に至った場合は、危険行為(安全配慮義務違反)として罰則の対象とする。

【正当なボール保持の妨害行為】

- ・ 相手コート内にあるボールに対して(空中にあるか、コートに接触している状態かは問わない)、故意に相手コートへ入りボールに関与する行為、または相手プレイヤーがボールを保持しようとしているところを故意に相手コートに入り妨害する行為を行ってはならない。この場合、危険行為として罰則の対象とする。
- ・ 自コートでボールを保持し、勢い余って相手コートに入ってしまった場合は除く(オーバーラインの適用)。

【本レギュレーションにおける罰則について】

本レギュレーションにおける罰則について、怪我のリスク、安全確保やマナー及びフェアプレイの観点から、厳しく罰則を適用するものとする。

- 危険行為(安全配慮義務違反を含む)、重大なマナー違反があったと認められる場合は『警告』
- 暴力行為、侮辱的言動、著しくスポーツマンシップに反する行為があったと認められる場合は『退場』
 - 同一セット中、2回目の警告を受けた場合も退場となる。
- 悪質な言動を続けることや、審判員がチームに対してプレーや言動の改善を求めたにもかかわらず指示に従わない場合は、その時点で『失格』
 - 失格となった場合、チームは以降のセットに出場できない。
 - 失格となった時点で、その相手チームを不戦勝とする。尚、不戦勝時における試合の勝敗は、公式ルール「第705条 ③」に準拠する。(◆但し、各セットの内野人数は7対0とする。)
- 抗議・アピールについて、審判員が軽度と判断した場合は指導を行っても差し支えないが、同一試合中に同一チームの選手が再び同等の抗議・アピールを行った場合は、警告の対象とする。